

**世界に暴虐を振るうナチスアメリカ**を過去現在と物資資金で最大限度支援したのは旧ナチ同盟国＝日本である事だ。 2014/11/12

[1]:アメリカは恐怖で支配するしか能のない国だということをコンドリーサ・ライス元国務長官は認めた

<http://plaza.rakuten.co.jp/condor33/diary/201411110000/>

アメリカ政府が嘘八百を並べ、中東／北アフリカ、最近ではウクライナを侵略していることは本ブログで書き続けてきた通り。

10月24日にロシアのソチで「バルダイ国際討論クラブ」の会議が開かれた。そのテーマは「新しいルールか、ルールなきゲームか」。その会議でウラジミール・プーチン露大統領はアメリカが「唯一の超大国」として身勝手な行動を始め、国際法を無視、カオスを地球上に広げていると語った。そうしたアメリカの命令に各国のリーダーを従わせるため、ビッグブラザー、つまり電子情報機関のNSAを使って各国のリーダーを監視、脅迫しているとも指摘している。全くその通りだ。

**オバマ米大統領と中国・習主席はなぜ、安倍首相を毛嫌いするのか：今の日本は両氏と対立する米国某勢力に操られているからと知れ！**

[http://blogs.yahoo.co.jp/hisa\\_yamamot/34344297.html](http://blogs.yahoo.co.jp/hisa_yamamot/34344297.html)

習氏は無表情・無言のみならず、実に不機嫌そうで、安倍氏とは一刻も早く離れたいという態度が丸見えでした。

**日中首脳会談（国旗がない写真）**

[http://blog.livedoor.jp/nevada\\_report-investment/](http://blog.livedoor.jp/nevada_report-investment/)

安倍総理と握手した習国家主席は苦渋の表情でしたが、嫌な相手と握手するにしましてもあそこまで嫌な顔を政治家ならしないものであり、安倍総理を心底嫌っているのがわかります。

日本人が自覚しない致命的問題は通うな**世界に暴虐を振るうナチスアメリカ**を過去現在と物資資金両面で最大限度支援したのは旧ナチ同盟国＝日本である事だ。世界の迷惑アメリカ、その背後で関わる大罪の認識が丸でない、しかも宣戦布告なき2011/3/11米地震兵器攻撃戦災に見る自己被害も無視した異常な国である自覚もない。

[http://www.777true.net/Opting-big-hell-of-all-in-long-term-for-evading-elite\\_s-small-hell-at-now.pdf](http://www.777true.net/Opting-big-hell-of-all-in-long-term-for-evading-elite_s-small-hell-at-now.pdf)

## [2] : 間もなく気候地獄化時代を控え、日本人自己点検マニュアル試論:

北欧-欧州やカナダ等の政治行政には無論大問題もあるのだが、彼らは日本人よりは政治動作が多少まともに見える、その差異は何処から来るか、僅かな自覚の違いでないのか。

筆者が圧倒的に認識する**日本人弱点**は局所問題は滅法強いが**肝心大局**では全くの無能！。近年は大学研究機関や行政関係者とも交渉する機会が多々あったが、**己専門以外**は殆ど話が出来ない**自己虫化人**が増えて恐怖を覚える。深い井戸を掘るには間口を広げろという人も居た。日蓮曰く、「**己安泰を願うならば全体安泰をまず考えるべし**」の一言に尽きてる、之さえ世界が実行できたならば激変するだろう。

俗人筆者の場合、宗教古典は聖職者の神崇拜とかよりも”**現世まとも化の実用マニュアル**”に見える。そも**聖書**自身が以下の様に言う、それは**実用マニュアル**的な話でもある。他方で宗教は其の”**超常性に予言啓示権威**”が由来するのであり、筆者場合はそれは科学だった事が従来の聖職者とは認識を異にする所です。非常に現実事実によく即してます。

<http://www.777true.net/Proof-on-God.pdf>

**(John.5:3) : 神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることである**。そして、その戒めはむずかしいものではない。

## 立正安国論の現代語訳 :

<http://www4.ocn.ne.jp/~sen0001/gosyo02b.html>

**聖書エペソ6. 12~16(日本聖書協会)**:<下線部分はking James 版によれば誤訳です>

わたしたちの戦いは、血肉に対するものではなく、(この世の)もろもろの支配と、権威と、やみの世(暗黒)の主権者、また天上にいる悪の霊(この世の高所にいる邪悪精神)に対する戦いである。それだから、悪しき日にあたって、よく抵抗し、完全に勝ち抜いて、堅く立ちうるために、神の武具を身につけなさい。すなわち、立って真理の帯を腰にしめ、正義の胸当てを胸につけ、平和の福音の備えを足にはき、その上に、信仰のたてを手に取りなさい。それをもって、悪しき者の放つ火の矢を消すことができるであろう。

## 3. Al-i-'Imran

<http://www.alquran-english.com/3-al-i-imran/>

003.175 **M.H.SHAKIR**: It is only the Shaitan that causes you to fear from his friends, but do not fear them, and fear Me if you are believers.

あのシャイタンの如きは自分の手下だけしか脅かすことができぬ者、されば汝ら少しも怖がる事はない。このわしこそを怖がれ、もし本当の信者ならば。

(井筒俊彦訳, 岩波新書コーラン)。

日月神示：「国常立尊」

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%88%E7%A5%9E%E7%A4%BA>

それらもすべて「国常立尊」と呼ばれるこの神霊の仕組みであったと神霊自身は語っている。「一火りの巻」（ヒカリの巻）第四帖で「世界国々所々に世の大洗濯知らず神柱現はしてあるが、これは皆この方の仕組ちゃから皆仲良う手引き合ってやって呉れよ。」と述べられ、時代や国、地域を超えて古くからこの神霊の仕組みや働きがあったものと考えられている。